

福知山鉄道館 愛称及びロゴデザイン案 申込受付一覧

黄色網掛けの愛称は事務局選考による採用候補です。  
 「幅広い世代が分かりやすく、親しみを持てるものか」(適合性)、「施設の個性・特性が表現されているか」(独自性)、「グッズ等で扱いやすく、展開のしやすいか」(汎用性・展開性)の基準で選定しています。

	愛称	愛称説明	ロゴ	ロゴ説明
1	テツシル	鉄道+知る=テツシル。 日本の発展に大きく寄与した鉄道と、「鉄道のまち」として発展してきた福知山市のを知ることができる施設。		
2	テツンド	鉄道+人=テツンド(鉄人)。 日本の発展に大きく寄与した鉄道と、「鉄道のまち」として発展してきた福知山市のここと愛する人が集まる施設。		
3	鉄人	鉄道+知る=鉄人(テツンド)。 日本の発展に大きく寄与した鉄道と、「鉄道のまち」として発展してきた福知山市のこことを知ることができる施設。		
4	テツノワ	鉄道+輪=テツノワ。 鉄道と鉄道を愛する人の輪、「鉄道のまち」として発展してきた福知山市と多くの人とのつながりを、「鉄の輪」として表現。		
5	キャッスルぽっぽ	記載なし		
6	ふくポッポ	福知山市の「ふく」、機関車を連想する「ポッポ」、そして市民に愛された前身の「ポッポランド」から名付けました。また、訪れたみんなに「福」が来ることと「幸運」があることを願っています。		愛称案である「ふくポッポ」を用いてロゴとして描きました。全体から車体、そして動輪・煙室扉・前照灯・ヘッドマークをイメージさせる円形を用いる事で機関車(C58)を彷彿させてあります。読み方を全世界へ発信するために配した英字、下部にサブタイトルを入れ、それらのロゴタイプは全て書き起こし、単色表示にも配慮しました。
7	福知山はあ〜とポッポ館	鉄道好きには、こころが熱くなる記念館		外の丸は館、中はレールで福知山のFと浅田のAです。
8	福知山きて・つどう館	来て集う館。喜鉄道館。		外の丸と上で福知山の山、中はレールで福知山のFと浅田のAです。
9	福知山レールパーク	私自身が子供の時に、祖母の家に行くのにいつも福知山線に乗っていたのでとても福知山線に思い入れがあります。しかし、鉄道や博物館という文字を使うとどうしても固い雰囲気になるので、レールパークという言葉にしました。野球場も最近ではボールパークという名称を使ったりするのでレールパークも親しみやすい名称だと思います。		
10	福知山レールウェイ自由館	福知山にある鉄道(レールウェイ)の自由に遊ぶことができる施設に。		
14	ふくてつ	鉄道の要所、福知山(ふくちやま)の鉄道博物館(てつどうはくぶつかん)であり、旧株式会社浅田可鍛鑄鉄所(あさだかたんちゅうてつじょ)の最寄りでもあるから。 鉄道や鑄鉄を身近に感じてもらい、福知山を梅小路や津山と同じように、鉄道を体感できる場所にしてほしい。		
15	ポッポキャッスル	福知山城公園内に建設されることや、瓦屋根や漆喰調の外壁といったお城風のデザインの建物であることから、英語でお城を意味する「キャッスル」という言葉を使い、長きに渡って愛されてきた「ポッポランド」という名前を生かしながら、名付けました。シンプルで分かりやすい愛称になるよう、意識しました。		
16	@t (あとつと)	浅田からアットマークを引き出し、泊れという事でtをつけ足した。		浅田からアットマークを引き出し、泊れという事でtをつけ足した。
19	PL (ピーエル)	ポッポランド(Poppo Land)の頭文字 もともとあったポッポランドの名前は、かわいくて響きもよかったことから、別に変更する必要はないと思った。しかし、リニューアルを機に気持ちを新たにするために、何かを変えようとするならば、愛称として英文字にしたときの頭文字でよいと思う。平坦に読むのではなく、Pにアクセントつけて読んでほしい。		

	愛称	愛称説明	ロゴ	ロゴ説明
21	てつどうの森すていしよん	駅を表す英語のstationは、拠点や基地を意味することから人が集まる場所になるようにという思いをこめてつけました。鉄道という感じが固いイメージがあるように思うので、ひらがなに自然の中にある駅ということで「てつどうの森すていしよん」の愛称にしました。ロゴマークは鉄道を3つのモチーフで現しています。駅舎、線路、列車をつなげるデザインです。様々な年齢層の来訪者を想定して、全体的にやわらかで親しみやすいイメージにしました。ロゴタイプは駅名標を連想させるように赤色の矢印をつけポイントにしています。		
23	エフテツ			
24	だんない福ちゃん	丹波弁の「かまわない、差支えない、だいじょうぶ」という意味の「だんない」をネーミングの最初に持ってきた理由は、新たに支援をいただき、ポツポランドが大地のようにどっしりと構えた鉄道館として気質を表し、なおかつ、多様性を重んじ、いろいろなことを取り入れていくパーソナルパワーから導きました。また、後半の「福ちゃん」はもちろん「福知山」と来場者にWell-beingである「幸福」をもたらすことをイメージして作成しました。		
25	みんなの福知山鉄道館	こどもから高齢者まで、全世代楽しめる施設という考えから、「みんなの」という言葉に、場所を表す「福知山」をつなげ、「鉄道館」を付けました。		
26	フクレル	FUKUCHIYAMA RAILWAY MUSEUM(福知山鉄道館の英語表記) フクチャマ レールウェイ ミュージアム 略称として「フクレル」を提案します。フクレルは“膨れる”=増大する意味をかねており、福知山のこれからの観光へ期待を持つ言葉にもなっています。また、フクレルを数字で表記すると「2906」という数字列になり数字語呂で合わせることでより鉄道の車両番号のような印象を与えます。したがって、今後の福知山市の観光資源としてもっと“膨れる”ことに思いを込めたこと、また愛称と鉄道館の英語表記がイコールになっていることがコンセプトとなっています。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゴ全体はSLの正面を象ったもの</li> <li>・2906はフクレルの愛称を数字語呂で合わせたもの</li> <li>・2906は蒸気機関車の車両番号のようなイメージ</li> <li>・数字の後ろの模様もフクレルのロゴが隠れている</li> </ul> <p>鉄道資料館らしい、SLモチーフのデザインにしました。特にSLは、福知山市の鉄道の歴史を伝える上で必要不可欠であり、資料館のアイコンとして重要なものと考えました。また、愛称を数字語呂化したことで、車両番号のような印象を与え、SLらしさにも一役かっています。小さなこどもから大人まで、あきのこないデザインをこころがけました。</p>
27	“ふくてつ”ミュージアム1st	福知山市の「ふく」と、鉄道博物館の「てつ」を組み合わせて愛称としました。平仮名にしたのは、子どもたちにも親んでもらえる名前がよいと考えたからです。また、「ポツポランド」から「ミュージアム」に変えたのは、子ども向けのアミューズメント施設としての位置づけだけでなく、歴史的な鉄道保存展示施設であるという意味合いを込めて、高齢者にも楽しんでいただける博物館であるというニュアンスの「ミュージアム」としました。1stという語尾には「1号館」という名残と、日本で一番愛される鉄道博物館になってほしいという願いを込めました。		
28	テツハク	「鉄」道の「博」物館という意味で、テツハク。		
29	ふくちやまトレインミュージアム	鉄道に関する資料を展示・体験できる施設であることが名称から分かる。また福知山城周辺を訪れた外国人観光客の方にもその主旨が誤解なく伝わるよう、この愛称としました。「福知山」を「ふくちやま」とひらがなで表記することで、堅苦しすぎない親しみやすさを表現しています。		デザインコンセプトは「過去と未来」。福知山の鉄道の歴史、ポツポランドの歴史の象徴である蒸気機関車をモチーフに、車両がレールの上をまっすぐに走り、これまでの歴史と、これからの福知山の鉄道の未来を照らしていく様子を表現しています。メインカラーは、落ち着きと懐かしさを感じさせるブラウンを採用。ロゴタイプは既存のゴシック体をアレンジし、少し柔らかく崩した要素を取り入れることで、幅広い年代の方に親んでもらえるよう配慮しています。
30	ぼっぼまる	長年、福知山市民に親まれてきた「ポツポランド」の音の一部を残し、お城の下という立地から、本丸、(二の丸、)伯耆丸に次ぐ新しい「丸」として「ぼっぼまる」としました。音と文字の形の可愛らしさから、小さいお子さんにも親しまれるのではないかと考えました。		「ほ」「ま」「る」の下部の丸を動輪に見立て、全体が機関車(と、その後ろの石炭車)の形になるようデザインしました。「ぼ」の半濁点は煙突から出る煙です。彩色については正直あまり考えがまとまっておらず、案①は青空と白い雲のイメージ、案②はお城との連動性をどこかに入れようとして、ロゴの中に「福知山城下町 今昔地図」を薄く貼り付けてみました。ただ看板にするとしたら、案①は遠目に見て目立ちにくいという欠点、案②は汚れているように見えるという欠点があり、結局シンプルに水色を背景色とするならロゴは柔らかい黄色系単色にするのが見やすく、カワイイのかな?とも思っております。

	愛称	愛称説明	ロゴ	ロゴ説明
35	丹波レトロ	お城の近くに建つということを知り、お城の雰囲気壊すことなく、そして昔ながらの良さが出る汽車、見て聞いて覚えやすい文字、字数、オリジナルグッズやSNSのアイコンなどにもおしゃれでかわいらしさもあり、映えそうな感じをイメージして考えました。		デジタルで済ませば早く作成する事が出来ると思いますが、一寸の狂いもないものより味のある文字が描きたいと思い、手描きで描かせて頂きました。福知山にはたくさん“古き良きものがあるんだよ”という意味も込めて、アナログで丹波レトロと描かせて頂きました。
37	ポッポ館	前の名前がポッポランドだったので、「ポッポ」と鉄道博物館の「館」を合わせて「ポッポ館」にしました。		
38	ふくちやまつどうはくぶつかん	ふくちやまにあるから。きょうとてつどうはくぶつかんといっしょ。		
40	京都ふくちやまポッポ鉄道ミュージアム	①外国人にもエリアの意識をしやすい様、先頭に「京都」と入れました ②「京都」「鉄道」のキーワードを入れることによりWEB検索上位を目指します ③福知山を「ふくちやま」を平仮名表記することにより、全世代に親しみを感じていただけます ④旧名称「ポッポランド」のイメージを残す為、「ポッポ」の言葉を残しています ⑤誰にでも何の施設か瞬時に理解いただける様、「鉄道」の文字を入れています ⑥サブ名称の「記念館」とのバランス考慮し「博物館」ではなく「ミュージアム」とし、堅苦しいイメージを払拭しています		①福知山城・明智光秀桔梗紋を中心に配置し、お城との親和を図る ②昔あった「転車台」をイメージし、中央から放射状に線路を描く ③線路の数は、福知山市の市章「フ」の数9つを合わせる
45	SLずかん	実物のSLが、本をパラパラめくるように気軽に見れることから、「図鑑」と名付けました。子供たちが親しめるようひらがなで表しました。愛称なので、必要とあれば頭に福知山を付けても大丈夫です。		
46	ふくポッポ	「福知山」の「ふく」と鉄道から、「ふくポッポ」と名付けた。		
47	鉄の轍	鉄道の歴史と体験ができる施設から、「鉄の轍」と名付けた。		
48	鉄の道	鉄道の歴史と体験ができる施設から、「鉄のみち」と名付けた。		
49	ポッポのおうち	ここで鉄道の歴史と体験ができることから、「ポッポのおうち」と名付けた。		
50	福知山レールパーク	福知山で鉄道の歴史と体験ができる施設から、「福知山レールパーク」と名付けた。		
51	福知山鉄道歴史体験館	福知山で鉄道の歴史と体験ができる施設から、「福知山鉄道歴史体験館」と名付けた。		
52	福知山鉄道歴史館	福知山の鉄道の歴史がわかる施設から、「福知山鉄道歴史館」と名付けた。		
53	福知山鉄道体験館	福知山で鉄道の体験ができる施設から、「福知山鉄道体験館」と名付けた。		
54	福知山鉄道ふれあい館	福知山で鉄道の歴史と体験ができる施設から、「福知山鉄道ふれあい館」と名付けた。		
55	ポッポピア福知山	鉄道の「ポッポ」と理想郷の「ユートピア」を合わせて、「ポッポピア福知山」と名付けた。		
56	福知山鉄道ふるさと館	福知山の鉄道の歴史がわかる施設であることから、「福知山鉄道ふるさと館」と名付けた。		
57	エブリレイル福知山	英語で「すべての人」を意味する「everyone」と、英語で「線路」を意味する「railroad track」から「エブリレイル」という言葉を使用しました。貴施設に訪れた人全員が、鉄道に親しみ楽しめるようにと願いを込めています。		
58	hukuppo	読み方は「ふくっぽ」です。福知山の「ふく」と、休館前の「福知山鉄道館ポッポランド2号館」の「ポッポ」から名付けました。		
59	ふくてつの森	福知山の「ふく」と、鉄道の「てつ」から「ふくてつ」とし、森でのびのびと過ごすような空間を思い浮かべ、名付けました。また、「森」という言葉に貴施設の周辺では、多くの自然が守られている事の意味も込めました。		
60	れいるっぽ	英語で「線路」を意味する「railroad trak」から「レイル」と、休館前の「福知山鉄道館ポッポランド2号館」の「ポッポ」から名付けました。		
61	とれいゆらんど	英語で「電車」を意味する「train」、福知山鉄道館の近くを流れる「由良川」の「ゆら」、休館前の「福知山鉄道館ポッポランド2号館」の「ランド」から名付けました。		

	愛称	愛称説明	ロゴ	ロゴ説明
62	ゆらぽっぽ	福知山鉄道館の近くを流れる「由良川」の「ゆら」、休館前の「福知山鉄道館ポップランド2号館」の「ポップ」から名付けました。		
63	ゆらっぽの森	福知山鉄道館の近くを流れる「由良川」の「ゆら」、休館前の「福知山鉄道館ポップランド2号館」の「ポップ」から「ゆらっぽ」という言葉を使用し、「森」には貴施設の周辺で、多くの自然が守られ、またその自然を感じる事が出来るという意味を込めました。		
64	ユーラオール鉄道ランド	英語で「みんな」を意味する「you all」と、福知山鉄道館の近くを流れる「由良川」の「ゆら」を組み合わせた「ユーラオール」という言葉を用いて、訪れた人みんなが楽しめる場所、という事を表現しました。		
65	ユーラレイル	英語で「あなた」を意味する「you」と、福知山鉄道館の近くを流れる「由良川」の「ゆら」、英語で「線路」を意味する「trailroad track」を組み合わせた「ユーラレイル」という言葉を用いて、「由良川の近くの、鉄道について体験できる施設をあなたと楽しむ」という事を表現しています。		
66	YURADEN	福知山鉄道館の近くを流れる「由良川」の「ゆら」と、「電車」という言葉を組み合わせて「YURADEN(読み方 ゆらでん)」と名付けました。		
91	ポップ	多くの人々に馴染みのあるポップランドの「ポップ」から。ポップのみにする事でやわらかく老若男女の皆さんの親しみのある場所になるという思いを込めて。サブタイトルと併せて違和感が無い。「ポップへ行こう!」「ポップで待ってるよ」などと気楽に使える。		老若男女の多くの人々に親しみを持ってもらい気楽に立ち寄れる場所の思いを込めてポップなロゴをデザインしました。
93	つなぐミュージアム	①鉄道の歴史や文化をつなぐ 線路のどこまでも繋がっているというイメージと鉄道の歴史や文化を未来につないでいきたいという思いから「つなぐミュージアム」という愛称をつけました。 ②心をつなぐ 時には小さな子どもの教育の場となり、時には大人や年配の方が幼いころのわくわくする気持ちを思い出す場となり、年代関係なく心をつなぐ思い出の場所になってほしいです。 ③地域創生につながる 観光で遠方の人にも訪れていただくことによって福知山市の地域創生につながれば幸いです。		トレインマークをモチーフにしたデザインにしました。「つなぐ」という言葉から連想しやすい手のマークを入れ、腕の部分を線路で表現しました。「福知山といえば、つなぐミュージアムだよ」と言ってもらえるような、誰もが思い浮かべやすいデザインを考えました。